

平成27年度通常代議員総会議案書

【審議事項】

第1号議案 平成26年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録
及び財務諸表に対する注記の承認について

第2号議案 任期満了に伴う監事2名の選任について

第3号議案 学士会選挙管理委員会委員及び選挙区委員会委員の推薦について

平成27年6月25日

一般社団法人 学士会

I. 平成26年度 事業報告（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

事業概況

平成26年度の本会は、取組むべき重点課題として以下の4点を掲げ、当該課題に対する積極的な取り組みを行いながら、定款に定める各種事業を実施してきました。

- (1) 会員増強活動の強化
- (2) 会員サービスの向上
- (3) 諸事業の充実と新規活動の展開
- (4) 会館運営事業の一層の強化

平成26年度の各種事業の実施状況は後段にて詳述致しますが、以下、重点課題に対する取り組み結果等について報告致します。

(1) 会員増強活動の強化

会員増強に向けた取組みとして、平成26年6月開催の通常代議員総会において会員資格の拡大に向けた定款の一部変更を行い、新たに入会資格を得た対象者に対して入会勧誘活動を行うと共に、七大学及び関連同窓団体・OB団体との連携強化に努め、当該団体が主催する各種イベント・催しの参加者に対し本会への入会を働きかけるなど、会員増強に向けた様々な取り組みを行ってまいりました。また、会員増強の重点的な課題として若手会員、女性会員、学生会員にとって魅力となるプログラム・サービスの提供にも取り組みました。

残念ながら、平成26年度末における会員数は対前年1,718名の減（逝去会員、会費未納による退会者を含む）となりましたが、新入会者数は増加傾向（対前年210名増）にあり、一方、自主的退会者数は減少傾向（対前年201名減）となるなど、会員の減少化傾向に一定の歯止めをかけることが出来た一年でもありました。次年度以降も会員増強に向け、これらの地道な活動を継続的に行ってまいります。

(2) 会員サービスの向上

本年度は、首都圏に偏りがちであったイベント実施の反省から、北海道大学・東北大学・名古屋大学・九州大学の所在地において、大学当局や関連同窓会との連携・協力の下で交流会を伴った講演会を実施致しました。又、若手会員や女性会員向けの新規プログラムを企画、実施した（「若手カフェ」「女性会」「男女会員交流会」等）他、外部企業・団体との提携に基づく各種会員割引・利便サービスの導入、更には学士会館での利用割引サービスの拡充等、会員サービスの向上に努めてまいりました（詳細は、『學士會会報』をご覧ください）。

(3) 諸事業の充実と新規活動の展開

本会の公益事業の大きな柱であり、会員からも高い評価を得ている『學士會会報』の発行については、発行号ごとに「会報編集委員会」を開催し、伝統ある会報の品質維持に努めると共に時宜に合った魅力ある誌面づくりに努めてまいりました。また『U7』のあり方に関する検討を行い、会員増強に資する目的で『U7』に替わる新たな媒体による情報誌の発刊が提案されました。

講演会事業に関しましては、既存の夕食会・午餐会の開催に加え、世代、性、居住地等の異なる会員各層のニーズに応えられるよう、前年度答申された「会員増強委員会」からの提案内容に沿った新規企画の実施を試みてきました。これらの結果評価を踏まえ、平成27年度も会員ニーズに適った企画・サービスを継続して提供してまいります。

(4) 会館運営事業の一層の強化

本年度より、本会の100%子会社である(株)学士会館精養軒との間で、学士会館の運営に関する委託契約の全面的な見直しを実施するとともに、両者による一体的な会館運営を強化するため、両者の実務責任者による定例的な「会館運営委員会」の開催や組織的連携・交流を図ってまいりました。その結果、本年度は学士会館の大規模改修工事に伴う1ヶ月間に及ぶ休館一営業休止期間があったものの、会館運営事業は順調に成果を上げる事ができ、本会事業の収支改善に大いに寄与する結果となりました。

また、上記の通り将来に向けた会館の安全維持管理のため、外壁補強工事を中心に館内の補修・改修工事を伴う大規模な修繕工事を実施致しました。工事休館中は会員の皆さまに多大なご不便をお掛けしましたことをあらためてお詫び申し上げますと共に、ご理解に対し感謝申し上げます。

以下、各事業別にその概要を報告致します。

1. 会 報 (『學士會会報』 及び 『U7』)

本会会報である『學士會会報』と『U7』を隔月に同時発行致しました。

『學士會会報』は第906号を平成26年5月、第907号を7月、第908号を9月、第909号を11月、第910号を平成27年1月、第911号を3月にそれぞれ発行し、全会員に配布致しました。また、『學士會会報』は七大学各学部図書館に寄贈する他、国立国会図書館や都道府県立図書館等へも毎号寄贈し、本会の目的でもある“学術的文化的知識の交流普及”に努めました。

また『U7』は第55号を平成26年5月、第56号を7月、第57号を9月、第58号を11月、第59号を平成27年1月、第60号を3月にそれぞれ発行し、総発行部数は305,600部となりました。

2. 会員氏名録

本年は4年振りに会員氏名録を発行致しました。平成26年7月31日現在の会員氏名録原稿をもとに編集を行い、11月に「平成26年度版会員氏名録」を発行致しました。

9,000部を発行し、完売致しました。

3. 学士会館

会館の利用実績は次の通りです。(※本年度は8月工事休館のため実質11ヶ月稼働です)

□会議室利用回数	5,634回(6,014回)	※カッコ内は昨年1年間の実績
□会議室利用人員	164,676名(178,241名)	} ※延べ人数 計 308,489名 [1日平均935名]
□宿泊室利用人員	7,440名(7,283名)	
□レストラン等利用人員	143,069名(160,616名)	

但し、読書室、七大学連絡事務所、囲碁・将棋・撞球(同好会室)、談話室の利用は除く。

4. 講演会、談話会、その他の集会

(1) 午 餐 会

本年度は次の通り、各分野で活躍される多彩な方々による講演会を開催し、延1,399名の参会がありました。なお、8月は会館休館に伴い休会、また12月は例年通り休会致しました。

映画の昨日・今日・明日	高井英幸氏 (平成26年 4月例会)
黒田官兵衛とその時代	中野等氏 (平成26年 5月例会)
熱中症における最新の話	三宅康史氏 (平成26年 6月例会)
発掘と研究	青柳正規氏 (平成26年 7月例会)
内にこもる日本	藤原帰一氏 (平成26年 9月例会)
目指すべき日本の未来の姿	岡村正氏 (平成26年10月例会)
私の出会った勘三郎と團十郎	山川静夫氏 (平成26年11月例会)
「人口急減社会」における効果的な少子化対策	増田寛也氏 (平成27年 1月例会)
想像するちから：チンパンジーが教えてくれた人間の心	松沢哲郎氏 (平成27年 2月例会)
東南アジアの現状と展望	白石隆氏 (平成27年 3月例会)

(2) タ 食 会

本年度は次の通り、午餐会と同様に、各分野で活躍される多彩な方々による講演会を開催し、延1,268名の参会がありました。なお、5月と8月は休会、1月は「新春講演会」に振り替え致しました。

長期観測データから見た異常気象	藤部文昭氏 (平成26年 4月例会)
次世代のがん研究・がん医療とは	野田哲生氏 (平成26年 6月例会)
宇宙太陽発電所の実現に向けて	篠原真毅氏 (平成26年 7月例会)
女性はもっと活躍できる	岩田喜美枝氏 (平成26年 9月例会)
ブラックホールはどこまで解明されているのか	二間瀬敏史氏 (平成26年10月例会)
はじまりは坂の途中で－日本文学が見せる人間のゆとりと威厳について考えるために－	ロバート キャンベル氏 (平成26年11月例会)
21世紀の世界システムと国際協力	田中明彦氏 (平成26年12月例会)
生物時計のからくりを探る	近藤孝男氏 (平成27年 2月例会)
昭和史から学ぶこと	保阪正康氏 (平成27年 3月例会)

(3) 新春講演会

本年度は次の通り、新春講演会を開催し、232名の参会がありました。

自分史を書く意義	立花隆氏 (平成27年 1月10日)
----------	--------------------

(4) 関西茶話会

本年度も過年度同様、関西地区の会員を対象とした茶話会を開催し、延190名の参会がありました。

第16回 「三角縁神獣鏡と邪馬台国所在地論争」

福永信哉氏(平成26年 4月12日)

第17回 「大地の動きから南海トラフ巨大地震の実像に迫る」

西村卓也氏(平成26年 6月14日)

第18回 「こころの科学は何をめざしているか」

吉川左紀子氏(平成26年10月18日)

第19回 「いけばな 一花の哲学—(いけばなはロジックである)」

笹岡隆甫氏(平成27年 2月28日)

(5) 見学会

本年度は次の通り、見学会(解説あり)を開催し、各々63名、41名の参会がありました。

・「青蓮院青龍殿見学会」

増田千次郎氏(平成26年11月29日)

(榊内田組 協力)

・「国立天文台文化財見学会」

三船康道氏(平成27年 3月13日)

日江井 榮二郎氏 藤本 眞克氏

(6) クリスマス家族会

平成26年12月20日、学士会館においてクリスマス家族会(午餐の部、晚餐の部)を開催致しました。催しとして、劇団こぐま座による着ぐるみ人形劇「ブレーメンの音楽隊」と「クリスマスコンサート」を行い、延べ362名の参会がありました。

(7) 新年祝賀会

平成27年1月6日、久保理事長による新年の挨拶に続いて大崎副理事長の発声による乾杯が行われ、賀宴を行いました。米澤会員による謡曲披露の後、三遊亭圓橋師による落語で新年を祝いました。88名の参会がありました。

(8) 若手交流会

本年度は昨年に引き続き、45歳までの会員を対象とした若手限定交流会を開催し、延92名の参会がありました。

第8回 気象キャスターの仕事

寺川 奈津美 氏(平成26年 7月23日)

第9回 演奏会(ジャズコンサート)

若井 優也 氏(平成27年 2月13日)

若手リズムジン・パーティー

(平成27年 1月31日)

(9) 若手会茶話会

本年度より新たに、34歳までの会員を対象に土曜日の茶話会「土曜カフェ」を開催し、延63名の参会がありました。開催テーマは次の通りです。

「コンサルタント」「営業」「読書」	(平成26年 9月27日)
「キャリア」「フリートーク」	(平成26年10月26日)
「転職」「フリートーク」	(平成26年11月29日)
忘年会(フリートーク)	(平成26年12月13日)
「外国語」「休日の過ごし方」	(平成27年 2月28日)
「後輩・部下」「異分野」「フリートーク」	(平成27年 3月28日)

(10) 女性会

本年度は次の通り、女性会員を対象とした女性会を開催し、延27名の参会がありました。

「パーソナルカラー診断講座」	川 邊 翔 子 氏 (平成26年 7月26日)
「おもてなし料理講座」	中 村 薫 氏 (平成26年11月 8日)
「体幹トレーニング講座」	飯 沢 芳 明 氏 (平成27年 2月28日)

(11) 地域講演会

本年度は大学のある各地域の内、これまで催し等の実施実績のなかった北海道、東北、名古屋、九州各大学の所在地において講演会を開催し、延393名(当会主催分)の参会がありました。

□北海道地区(北海道講演会)	後援 北海道大学、北海道大学連合同窓会、 北海道新聞社
80歳エベレスト登頂からさらなる挑戦へ	三 浦 雄一郎 氏 (平成26年9月26日)
□東北地区(仙台セミナー)	主催 東北大学 協力 学士会
①変える、変わる仙台のまちとくらし	～仙台市地下鉄東西線開通を来年にひかえて～
	岩 崎 俊 一 氏 (平成26年10月11日)
	野 家 啓 一 氏
	佐 藤 真 海 氏
② 国立七大学卒業生の集い	協力 東北大学全学同窓会萩友会
27名の参会がありました。	
世界記憶遺産としての慶長遣欧使節	濱 田 直 嗣 氏 (平成26年10月11日)
□名古屋地区(講演会・夕食会)	共催 名古屋大学全学同窓会
グローバルゼーションと日本の将来	丹 羽 宇一郎 氏 (平成26年11月26日)
□九州地区(講演会・懇親会)	共催 九州学士会
	後援 九州大学、九州大学同窓連合会、西日本新聞社
中国の時代と東アジア	宮 本 雄 二 氏 (平成27年 1月24日)

(12) ホームカミングデーへの出店

本年度は、大学が主に卒業生を対象として開催した「ホームカミングデー」に参加しました。

- ①東北大学 七大学紹介及び学生会館オリジナル商品紹介 (平成26年10月11日)
②東京大学 復活学生会分館ビアガーデン (平成26年10月18日)

(13) セタパーティー/クリスマスパーティー

東京大学校友会と共催で、男女若手独身メンバーを対象とした交流会を開催しました。

- ① 平成26年 7月 6日 …「セタパーティー」 36名参加 (申込：119名)
② 平成26年12月21日 …「クリスマスパーティー」 40名参加 (申込：108名)

(14) 春を迎えて 七大学学生の集い

平成27年2月13日、「学生会員」に向けた初めての企画イベントとして、「春を迎えて 七大学学生の集い」を開催しました。今回は、大学3年・4年生、大学院生を対象に募集を行い、18名の参加がありました。

(15) 鑑賞ツアー

外部団体が企画・主催する「演劇」「コンサート」「古典芸能」等の文化・芸術イベントを、価格割引、優良席提供等の会員特典を付与して紹介・斡旋する「鑑賞ツアー」を企画し、延672名の参加がありました。

4. 諸会議等

(1) 通常代議員総会

本年度の通常代議員総会を、平成26年6月26日学生会館において開催致しました。当日の出席代議員59名、書面等による議決権行使代議員50名、合計109名の出席により総会が成立し、次の議案を諮りそれぞれ承認可決致しました。

また、平成25年度事業報告並びに貸借対照表、正味財産増減計算書及び財務諸表に対する注記等、決算内容について報告がなされました。

- 議案 1 平成25年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び財務諸表の注記の承認について
- 議案 2 定款の一部変更について
定款第6条第1項各号の会員資格に関する改正案について説明の後、裁決が行われ、総代議員数の3分の2以上の賛成が得られたため、原案通り承認可決されました。
- 議案 3 任期満了に伴う理事14名の選任について
13名の理事が再任され、新たに大垣眞一郎代議員が、理事に選任されました。任期は2年で、平成28年6月までとなります。
- 議案 4 任期満了に伴う監事3名の選任について
任期満了となる若井恒雄氏、根本二郎氏、岡田明重氏が監事に再任されました。
- 議案 5 学生会選挙管理委員会委員（東京大学選挙区及び大阪大学選挙区）の推薦について
欠員となっていた東京大学選挙区及び大阪大学選挙区選出の「選挙管理委員会委員」の候補者として、西尾勝会員（東京大学選挙区）と平野俊夫会員（大阪大学選挙区）を推薦することが決まりました。

(2) 臨時代議員総会

平成27年3月26日、「臨時代議員総会」を学士会館において開催致しました。当日の出席議員は69名、書面等による議決権行使代議員39名、計108名の出席により成立し、本田勝彦代議員総会議長のもとで次の議案を審議し、承認可決致しました。

議案 1 平成27年度事業計画案及び予算案について

議案 2 理事の選任について

金澤一郎理事の後任として、新たに桐野高明会員（東京大学・医卒）が理事に選任されました。

報告事項 会員増強について

(3) 理事会

本年度において次の通り開催し、諸般の会務について審議決定致しました。

□4月理事会（平成26年4月26日）

1. 平成26年度通常代議員総会の開催について
2. 平成25年度決算（概要）について

報告（1）新卒業学士等の入会状況

□5月理事会（平成26年5月22日）

1. 平成26年度通常代議員総会への提案議案について
2. (株)学士会館精養軒の第63期定時株主総会議案について
3. 学士会事務局の組織変更及び事務局員の異動について

□6月理事会（平成26年6月26日）

報告（1）（本日開催）通常代議員総会について

（2）「国立七大学柔道選手団フランス派遣事業」への寄附について

□6月臨時理事会（平成26年6月26日 会員総会終了後）

1. （定款第27条第2項に基づく）理事長の選任について
2. （定款第27条第2項に基づく）副理事長及び常務理事の選任について
3. 会報編集委員会委員の選任について

□7月理事会（平成26年7月17日）

1. 「会員増強実行委員会」の発足について
2. 「特選入会希望者」について

報告（1）夏期休館を伴う会館補修・改修工事の実施について

（2）七大戦開会式（7月5日開催）について

（3）「地域イベント（講演会・交流会）」について

（4）平成26年度後半の理事会等日程について

□ 9月理事会（平成26年9月25日）

1. 『U7』の見直しについて

報告（1）夏期休館期間中の会館改修工事の実施について

（2）「会員氏名録」の購入申込状況及び発行部数について

（3）保有「外国仕組債」の一部早期償還（3銘柄：6億円）について

（4）「地域イベント」の開催について

（5）会員増強について

□ 10月理事会（平成26年10月23日）

1. 新理事候補者について

2. 平成26年度上半期会計報告について

3. 平成26年度上半期資金運用状況及び下半期資金運用計画（案）について

報告（1）「地域イベント」の開催について

（2）会員増強について

①第2回「会員増強実行委員会」の開催要領

②平成26年度上半期会員動向

□ 11月理事会（平成26年11月27日）

1. 平成26年度「臨時代議員総会」の開催について（平成27年3月開催）

2. 平成27年度理事会等の会議日程について

3. 会員増強について一第2回「会員増強実行委員会」開催を受けて一

報告（1）「地域イベント（11/26 名古屋地区）」開催報告

（2）「七大学総長懇談会（11/20）」開催報告

（3）「会員氏名録」の発行について

（4）年末年始の「催し」について

□ 1月理事会（平成27年1月22日）

1. 「平成26年度決算見通し」について

報告（1）「地域イベント（九州講演会）」開催予定

（2）会員増強について

①第3回「会員増強実行委員会」の開催報告

②平成26年12月末日現在の会員数及び増減状況

③今年度の新卒業生及び修了生に対する入会勧誘活動について

④「学生会員」向けイベントの実施について

□ 2月理事会（平成27年2月26日）

1. 平成27年度事業計画案及び予算案並びに資金計画案について

2. 平成26年度「臨時代議員総会」の開催について

3. 「会員増強実行委員会」からの提案について

報告（1）「会員増強」について

□ 3月理事会（平成27年3月26日）

報告（1）（本日開催）臨時代議員総会について

（2）新修了生・卒業生に対する入会勧誘活動について

(4) 監事会 (平成26年5月22日)

平成25年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び財務諸表の注記の検査を行いました。

(5) 常務会

毎月定期的に常務会を開催し、理事会提出議案の審議等、種々の会務を審議し必要事項を決定致しました。

(6) 諸委員会

ア. 会報編集委員会

本年度は次の通り開催し、種々検討・協議の上、各号の執筆候補者を決定致しました。

第1回	平成26年	5月22日	会報第909号
第2回	平成26年	7月17日	会報第910号
第3回	平成26年	9月25日	会報第911号
第4回	平成26年	11月27日	会報第912号
第5回	平成27年	1月22日	会報第913号
第6回	平成27年	3月26日	会報第914号

イ. 会員増強実行委員会

前年度の「会員増強委員会答申」を受け、会員増強活動を一層強化するため、「答申」に示された諸活動を推進させ、また新たな課題に取り組む常設委員会として、南原晃常務理事を委員長とする「会員増強実行委員会」が設置されました(平成26年9月)。

委員は、五十嵐三津雄理事、梶山千里理事、片岡大造代議員、大寫幸一郎代議員、河田悌一代議員、清水廣行会員、伴辰也会員、佐藤千恵子会員、田村恵美子会員、吉積礼敏会員、下村一樹会員です。

委員会は、次の通り開催され、『U7』廃刊後の情報新媒体の有り方や、会員増強に向けた各種施策の展開について協議を行い、理事会に対する提案を行いました。

第1回	平成26年	9月	4日
第2回	平成26年	10月	31日
第3回	平成27年	1月	15日
第4回	平成27年	2月	6日

なお、本委員会は平成27年4月以降も継続して開催されております。

ウ. 趣味同好会

平成26年12月1日に撞球、囲碁、将棋、俳句、漢詩、短歌、落語各会の年間優秀会員にそれぞれ理事長杯を授与し、その後、委員会を開催し、懇談を行いました。

5. 会 員

本年度における会員の増減及び年度末会員数は次の通りです。

新 会 員	8 1 9 名	(5 9 9 名)
逝 去 会 員	9 3 0 名	(8 5 2 名)
退 会 会 員	1, 1 5 5 名	(1, 3 5 6 名)
会費長期未納退会者	4 5 2 名	(1, 0 8 5 名)
差 引 減	1, 7 1 8 名	
現 在 会 員 数	4 9, 2 8 6 名	(内 終身会員4, 3 1 3 名)

(注：「終身会員」の内、戦前に制定された終身会員制度による加入者が788名、平成21年度より、新たに制度化された「新終身会員」が3,525名になります。)

6. そ の 他

当会は、(株)学士会館精養軒に学士会館の運營業務を委託しておりますが、平成16年2月以降、当会が同社の株式を100%保有しております。同社の概要は次の通りです。

[株式会社学士会館精養軒の概要] (平成27年3月31日現在)

□名 称	株式会社学士会館精養軒
□所 在	東京都千代田区神田錦町3-28
□代表者	代表取締役社長 渡邊 幸重
□資本金	10,000,000円
□売上高	1,677,401千円 (平成26年度決算)

(株)学士会館精養軒の平成26年度の営業結果は、次の通りです。

□平成26年度 (平成26年4月1日～平成27年3月31日) 決算	
・売上高	1,677,401千円 (前年度：1,725,482千円)
・営業利益	53,701千円 (同：80,589千円)
・経常利益	94,793千円 (同：102,502千円)

なお、当会との取引関係については、「平成26年度決算報告」における「財務諸表の注記」をご参照下さい。

Ⅱ. 平成26年度 決算報告 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

貸借対照表

(平成27年3月31日現在)

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	186,830,836	197,914,485	△ 11,083,649
未収金	37,967,124	33,050,669	4,916,455
前払費用	2,991,187	762,313	2,228,874
未収消費税等	4,101,800	0	4,101,800
立替金	0	5,402,332	△5,402,332
流動資産合計	231,890,947	237,129,799	△ 5,238,852
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	432,393,320	432,393,320	0
建物	497,024,155	516,484,096	△ 19,459,941
基本財産合計	929,417,475	948,877,416	△ 19,459,941
(2) 特定資産			
建物改築引当特定資産	1,530,068,400	1,492,220,000	37,848,400
建物設備修繕特定資産	1,448,007,191	1,703,173,190	△ 255,165,999
会員活動強化特定資産	326,654,808	315,630,300	11,024,508
退職給付引当特定資産	70,264,450	74,029,868	△ 3,765,418
役員退職慰労引当特定資産	3,995,427	0	3,995,427
特定資産合計	3,378,990,276	3,585,053,358	△206,063,082
(3) その他固定資産			
什器備品	41,215,549	35,796,569	5,418,980
一括償却資産	947,068	1,925,738	△ 978,670
ソフトウェア	3,374,954	13,477,274	△ 10,102,320
子会社株式	16,000	16,000	0
その他固定資産合計	45,553,571	51,215,581	△ 5,662,010
固定資産合計	4,353,961,322	4,585,146,355	△ 231,185,033
資産合計	4,585,852,269	4,822,276,154	△ 236,423,885

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	20,189,601	19,418,244	771,357
前受金	4,812,015	123,202	4,688,813
預り金	966,153	1,005,811	△ 39,658
未払消費税等	0	1,676,200	△ 1,676,200
賞与引当金	6,667,000	6,667,000	0
流 動 負 債 合 計	32,634,769	28,890,457	3,744,312
2. 固定負債			
退職給付引当金	70,264,450	73,904,100	△ 3,639,650
役員退職慰労引当金	4,014,177	4,081,679	△ 67,502
固 定 負 債 合 計	74,278,627	77,985,779	△ 3,707,152
負 債 合 計	106,913,396	106,876,236	37,160
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	4,478,938,873	4,715,399,918	△ 236,461,045
(うち基本財産への充当額)	(929,417,475)	(948,877,416)	(△19,459,941)
(うち特定資産への充当額)	(3,304,730,399)	(3,511,023,490)	(△206,293,091)
正 味 財 産 合 計	4,478,938,873	4,715,399,918	△ 236,461,045
負債及び正味財産合計	4,585,852,269	4,822,276,154	△ 236,423,885

正味財産増減計算書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益			
特定資産受取利息	36,038,913	66,495,105	△ 30,456,192
② 受取会費			
普通会費収益	183,375,700	192,848,500	△ 9,472,800
終身会費収益	18,400,000	27,100,000	△ 8,700,000
③ 会館運営収益			
業務委託固定収益	273,680,000	209,280,000	64,400,000
業務委託変動収益	49,958,689	0	49,958,689
④ 事業収益			
講演会等収益	17,862,326	23,238,353	△ 5,376,027
同好会費収益	674,080	786,501	△ 112,421
会報等広告料収益	21,285,499	21,185,975	99,524
氏名録発行収益	32,791,128	47,620	32,743,508
⑤ 雑収益			
受取利息及び配当金	16,050,466	18,046,851	△ 1,996,385
その他収益	1,931,071	2,038,509	△ 107,438
経常収益計	652,047,872	561,067,414	90,980,458
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	2,339,775	2,339,775	0
給与手当	94,742,046	84,658,275	10,083,771
賞与引当金繰入額	4,933,580	4,666,900	266,680
退職給付費用	4,144,000	2,624,725	1,519,275
福利厚生費	16,393,145	12,640,543	3,752,602
旅費交通費	3,364,435	3,395,367	△ 30,932
電話費	870,255	1,069,529	△ 199,274
減価償却費	93,489,669	94,103,612	△ 613,943
什器備品費	2,041,403	1,130,992	910,411
文房印刷費	625,054	585,649	39,405
消耗品費	5,849,664	3,671,735	2,177,929
図書費	427,178	436,619	△ 9,441
営繕費	216,796,672	20,907,140	195,889,532
施設保守費	62,499,917	45,676,908	16,823,009
電灯電力費	36,844,569	11,324,322	25,520,247
給水冷暖房費	21,248,914	5,038,367	16,210,547
保険料	1,084,700	819,544	265,156
租税公課	55,264,100	55,563,700	△ 299,600
会報費	79,034,296	79,440,911	△ 406,615
氏名録関連費	26,896,405	2,285,445	24,610,960
講演会等経費	17,490,160	21,440,700	△ 3,950,540
会員活動強化費	1,641,350	0	1,641,350
七大戦支援費	7,800,000	7,000,000	800,000
システム管理費	3,746,586	3,197,796	548,790
会場施設使用料	1,667,889	6,954,155	△ 5,286,266
事業費計	761,235,762	470,972,709	290,263,053

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
②管理費			
役員報酬	5,496,484	5,372,693	123,791
給与手当	37,696,721	41,697,373	△ 4,000,652
賞与引当金繰入	1,733,420	2,000,100	△ 266,680
役員退職慰労引当金繰入	827,082	812,500	14,582
退職給付費用	1,456,000	1,292,775	163,225
福利厚生費	8,298,925	7,690,976	607,949
旅費交通費	3,421,841	3,700,923	△ 279,082
会議費	4,405,255	4,479,603	△ 74,348
賃借料	115,628	115,628	0
電話費	372,968	458,396	△ 85,428
減価償却費	8,262,187	8,250,204	11,983
文房印刷費	267,881	340,290	△ 72,409
給水冷暖房費	657,193	155,826	501,367
電灯電力費	1,139,527	350,238	789,289
租税公課	32,028,904	26,130,551	5,898,353
会員活動強化費	3,214,678	5,499,161	△ 2,284,483
集金費	7,467,958	6,368,595	1,099,363
業務報酬料	6,950,000	7,164,764	△ 214,764
システム管理費	2,822,289	2,617,798	204,491
雑費	991,447	2,126,619	△ 1,135,172
管 理 費 計	127,626,388	126,625,013	1,001,375
経 常 費 用 計	888,862,150	597,597,722	291,264,428
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 236,814,278	△ 36,530,308	△ 200,283,970
特定資産評価損益等	30,434,400	54,253,400	△ 23,819,000
当期経常増減額	△ 206,379,878	17,723,092	△ 224,102,970
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
①特定資産償還益	7,780,000	43,730,000	△ 35,950,000
経常外収益計	7,780,000	43,730,000	△ 35,950,000
(2) 経常外費用			
①基本財産除却損	36,651,782	5,265,925	31,385,857
②特定資産償還損	410,000	0	410,000
③固定資産除却損	659,385	183,261	476,124
経常外費用計	37,721,167	5,449,186	32,271,981
当期経常外増減額	△29,941,167	38,280,814	△68,221,981
税引前一般正味財産増減額	△236,321,045	56,003,906	△292,324,951
法人税・住民税及び事業税	140,000	140,000	0
当期一般正味財産増減額	△236,461,045	55,863,906	△292,324,951
一般正味財産期首残高	4,715,399,918	4,659,536,012	55,863,906
一般正味財産期末残高	4,478,938,873	4,715,399,918	△236,461,045
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	4,478,938,873	4,715,399,918	△236,461,045

正味財産増減計算内訳書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	実施事業等会計			その他事業会計					法人会計	合計
	会報発行事業	寄附事業	小計	会館運営事業	講演会等事業	会員親睦事業	七大学生支援事業	その他事業		
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
①特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36,038,913
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36,038,913
②受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	201,775,700
普通会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	183,375,700
終身会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18,400,000
③会館運営収益	0	0	0	323,638,689	0	0	0	0	323,638,689	0
業務委託固定収益	0	0	0	273,680,000	0	0	0	0	273,680,000	0
業務委託変動収益	0	0	0	49,958,689	0	0	0	0	49,958,689	0
④事業収益	21,285,499	0	21,285,499	0	7,811,503	35,866,600	0	7,649,431	51,327,534	0
講演会費等収益	0	0	0	0	7,811,503	2,401,392	0	7,649,431	17,862,326	0
同好会収益	0	0	0	0	0	674,080	0	0	674,080	0
会報等広告料収益	21,285,499	0	21,285,499	0	0	0	0	0	0	0
氏名録発行収益	0	0	0	0	0	32,791,128	0	0	32,791,128	0
⑤雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17,981,537
受取利息及び配当金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16,050,466
その他収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,931,071
経常収益計	21,285,499	0	21,285,499	323,638,689	7,811,503	35,866,600	0	7,649,431	374,966,223	255,796,150
(2) 経常費用										
①事業費	120,094,569	7,800,000	127,894,569	484,179,854	29,559,675	71,411,681	22,375,537	25,814,446	633,341,193	0
役員報酬	1,537,443	0	1,537,443	120,349	601,749	80,234	0	0	802,332	0
給料手当	25,580,352	0	25,580,352	25,580,352	13,263,886	14,211,306	6,631,943	9,474,207	69,161,694	0
賞与引当金繰入額	1,332,066	0	1,332,066	1,332,066	690,701	740,037	345,350	493,360	3,601,514	0
退職給付費用	1,118,880	0	1,118,880	1,118,880	580,160	621,600	290,080	414,400	3,025,120	0
福利厚生費	4,426,149	0	4,426,149	4,426,149	2,295,040	2,458,971	1,147,520	1,639,316	11,966,996	0
旅費交通費	908,397	0	908,397	908,397	471,020	504,665	235,510	336,446	2,456,038	0
電話費	252,373	0	252,373	0	217,563	278,481	17,405	104,433	617,882	0
減価償却費	1,869,793	0	1,869,793	66,377,664	934,896	14,023,450	8,414,070	1,869,796	91,619,876	0
什器備品費	0	0	0	2,041,403	0	0	0	0	2,041,403	0
消耗品費	0	0	0	4,679,731	584,966	584,967	0	0	5,849,664	0
文房印刷費	181,265	0	181,265	0	156,263	200,017	12,501	75,008	443,789	0
図書費	0	0	0	427,178	0	0	0	0	427,178	0
営繕費	0	0	0	216,796,672	0	0	0	0	216,796,672	0
施設保守費	0	0	0	62,499,917	0	0	0	0	62,499,917	0
給水冷暖房費	424,978	0	424,978	15,086,728	212,489	3,187,337	1,912,402	424,980	20,823,936	0
電灯電力費	736,891	0	736,891	26,159,643	368,445	5,526,685	3,316,011	736,894	36,107,678	0
保険料	0	0	0	1,044,155	35,775	4,770	0	0	1,084,700	0
租税公課	0	0	0	55,264,100	0	0	0	0	55,264,100	0
会報費	79,034,296	0	79,034,296	0	0	0	0	0	0	0
氏名録関係費	0	0	0	0	0	26,896,405	0	0	26,896,405	0
講演会等経費	0	0	0	0	7,215,108	1,829,031	0	8,446,021	17,490,160	0
会員活動強化費	0	0	0	0	0	0	0	1,641,350	1,641,350	0
七大戰支援費	0	7,800,000	7,800,000	0	0	0	0	0	0	0
システム管理費	2,691,686	0	2,691,686	316,470	263,725	263,725	52,745	158,235	1,054,900	0
会場施設使用費	0	0	0	0	1,667,889	0	0	0	1,667,889	0

科 目	実施事業等会計			その他事業会計						法人会計	合計
	会報発行事業	寄附事業	小計	会館運営事業	講演会等事業	会員親睦事業	七大学生支援事業	その他事業	小計		
②管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	127,626,388	127,626,388
役員報酬										5,496,484	5,496,484
役員退職慰労引当金繰入額										827,082	827,082
給料手当										37,696,721	37,696,721
賞与引当金繰入額										1,733,420	1,733,420
退職給付費用										1,456,000	1,456,000
福利厚生費										8,298,925	8,298,925
旅費交通費										3,421,841	3,421,841
会議費										4,405,255	4,405,255
地代家賃										115,628	115,628
電話費										372,968	372,968
減価償却費										8,262,187	8,262,187
文房印刷費										267,881	267,881
給水冷暖房費										657,193	657,193
電灯電力費										1,139,527	1,139,527
租税公課										32,028,904	32,028,904
会員活動強化費										3,214,678	3,214,678
集金費										7,467,958	7,467,958
業務委託料										6,950,000	6,950,000
システム管理費										2,822,289	2,822,289
雑費										991,447	991,447
経常費用計	120,094,569	7,800,000	127,894,569	484,179,854	29,559,675	71,411,681	22,375,537	25,814,446	633,341,193	127,626,388	888,862,150
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 98,809,070	△ 7,800,000	△ 106,609,070	△ 160,541,165	△ 21,748,172	△ 35,545,081	△ 22,375,537	△ 18,165,015	△ 258,374,970	128,169,762	△ 236,814,278
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30,434,400	30,434,400
当期経常増減額	△ 98,809,070	△ 7,800,000	△ 106,609,070	△ 160,541,165	△ 21,748,172	△ 35,545,081	△ 22,375,537	△ 18,165,015	△ 258,374,970	158,604,162	△ 206,379,878
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益											
① 特定資産償還益										7,780,000	7,780,000
(2) 経常外収益											
① 基本財産除却損										36,651,782	36,651,782
② 特定資産償還損										410,000	410,000
③ 固定資産除却損										659,385	659,385
経常外費用計										37,721,167	37,721,167
当期経常外増減額										△ 29,941,167	△ 29,941,167
税引前一般正味財産増減額										△ 236,321,045	△ 236,321,045
法人税・住民税及び事業税										140,000	140,000
当期一般正味財産増減額										△ 236,461,045	△ 236,461,045
一般正味財産期首残高										4,715,399,918	4,715,399,918
一般正味財産期末残高										4,478,938,873	4,478,938,873
II 指定正味財産増減の部											
当期指定正味財産増減額										0	0
指定正味財産期首残高										0	0
指定正味財産期末残高										0	0
III 正味財産期末残高										4,478,938,873	4,478,938,873

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ①子会社株式：原価法によっている。
- ②その他有価証券：期末の市場価格等に基づく時価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

建物及び什器備品：定率法によっている。但し、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備は除く）は定額法、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく方法によっている。また税法上の一括償却資産に該当するものは、3年間の均等償却によっている。

無形固定資産

ソフトウェア：法人内における利用可能期間（5年）に基づき定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

- ①賞与引当金：職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
- ②退職給付引当金：職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末に発生していると認められる額を計上している。なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。
- ③役員退職慰労引当金：役員退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式によっている。

(5) 実施事業資産

学士会館の面積2%相当を事務スペースとして使用。

（土地 432,393,320 円 建物 9,940,483 円）

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土 地	432,393,320	—	—	432,393,320
建 物	516,484,096	86,662,957	106,122,898	497,024,155
小 計	948,877,416	86,662,957	106,122,898	929,417,475
特定資産				
建物改築引当特定資産	1,492,220,000	1,633,098,400	1,595,250,000	1,530,068,400
建物設備修繕特定資産	1,703,173,190	164,715,701	419,881,700	1,448,007,191
会員活動強化特定資産	315,630,300	79,504,508	68,480,000	326,654,808
退職給付引当特定資産	74,029,868	45,648,296	49,413,714	70,264,450
役員退職慰労引当資産	—	4,828,346	832,919	3,995,427
小 計	3,585,053,358	1,927,795,251	2,133,858,333	3,378,990,276
合 計	4,533,930,774	2,014,458,208	2,239,981,231	4,308,407,751

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
土 地	432,393,320	—	(432,393,320)	—
建 物	497,024,155	—	(497,024,155)	—
小 計	929,417,475	—	(929,417,475)	—
特定資産				
建物改築引当特定資産	1,530,068,400	—	(1,530,068,400)	—
建物設備修繕特定資産	1,448,007,191	—	(1,448,007,191)	—
会員活動強化特定資産	326,654,808	—	(326,654,808)	—
退職給付引当特定資産	70,264,450	—	—	(70,264,450)
役員退職慰労引当資産	3,995,427	—	—	(3,995,427)
小 計	3,378,990,276	—	(3,304,730,399)	(74,259,877)
合 計	4,308,407,751	—	(4,234,147,874)	(74,259,877)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	2,128,574,614	1,631,550,459	497,024,155
什 器 備 品	255,471,813	214,256,264	41,215,549
一括償却資産	5,342,288	4,395,220	947,068
ソフトウェア	59,408,565	56,033,611	3,374,954
合 計	2,448,797,280	1,906,235,554	542,561,726

5. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

属性	法人等の名称	住所	資産総額	事業内容	議決権所有割合
子会社	株式会社 学士会館精養軒	東京都千代田区神田錦町 3-28-1	676,963,179	飲食業・ 旅館他	100%

関係内容		取引の内容	取引金額	科 目	期末残高
役員の兼務等	事業上の関係	会館運営に伴う 施設貸与(※)	321,958,689	未収金	31,228,529
—	会館運営の委託				

上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税が含まれている。

取引条件及び取引条件の決定方針等

(※) 価格その他の取引は、市場実勢を参考に当会が希望価格を提示し、価格交渉の上で決定している。

6. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

①退職給付債務	△70,264,450
②会計基準変更時差異の未処理額	0
③退職給付引当金(①+②)	△70,264,450

(3) 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

①勤務費用	5,600,000
②会計基準変更時差異の費用処理額	0
③退職給付費用(①+②)	5,600,000

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産明細

財務諸表に対する注記に記載しているため、附属明細での記載を省略している。

2. 引当金明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	6,667,000	6,667,000	6,667,000	—	6,667,000
退職給付引当金	73,904,100	5,600,000	9,239,650	—	70,264,450
役員退職慰労引当金	4,081,679	827,082	894,584	—	4,014,177
合 計	84,652,779	13,094,082	16,801,234	—	80,945,627

財 産 目 録

(平成27年3月31日現在)

(単位：円)

科 目			金 額	
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金				
現金	(手許有高)	260,867		
振替預金	(ゆうちょ銀行)	17,428,954		
普通預金	(三菱東京UFJ銀行他)	169,141,015		
未収金	(会館運営収入未収分他)	37,967,124		
未収消費税等	(26年度消費税還付金)	4,101,800		
前払費用	(損害保険、鑑賞ツアー他)	2,991,187		
流動資産合計			231,890,947	
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
土地	(千代田区神田錦町三丁目 28番1,28番2,28番3,28番4, 敷地3,399.97㎡)	432,393,320		
建物	(千代田区神田錦町三丁目 28番地1学士会館建物地下1階 付5階建延9,337.47㎡)	497,024,155		
基本財産合計		929,417,475		
(2) 特定資産				
建物改築引当特定資産	(第311回利付10年国債他)	1,530,068,400		
建物設備修繕特定資産	(三菱東京UFJ銀行債他)	1,448,007,191		
会員活動強化特定資産	(三井住友銀行債他)	326,654,808		
退職給付引当特定資産	(三井住友銀行定期預金他)	70,264,450		
役員退職慰労引当特定資産	(三菱東京UFJ銀行普通預金)	3,995,427		
特定資産合計		3,378,990,276		
(3) その他固定資産				
什器備品	(家具製品他)	41,215,549		
一括償却資産	(火災報知器他)	947,068		
ソフトウェア	(会計用サーバー他)	3,374,954		
子会社株式	(㈱学士会館精養軒)	16,000		
その他固定資産合計		45,553,571		
固定資産合計			4,353,961,322	
資 産 合 計				4,585,852,269
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	(各業者に対する未払額)	20,189,601		
前受金	(27年度分鑑賞ツアー他)	4,812,015		
預り金	(職員他源泉所得税他)	966,153		
賞与引当金	(職員賞与に対する引当金)	6,667,000		
流動負債合計			32,634,769	
2. 固定負債				
退職給付引当金	(職員16名分)	70,264,450		
役員退職慰労引金	(役員18名分)	4,014,177		
固定負債合計			74,278,627	
負 債 合 計				106,913,396
正 味 財 産				4,478,938,873

平成27年5月28日

監 査 報 告

一般社団法人 学士会
理事長 久保 正彰 様

一般社団法人 学 士 会

監 事 若 井 恒 雄 (印)

監 事 岡 田 明 重 (印)

監 事 橋 本 徹 (印)

監 事 福 井 俊 彦 (印)

平成26年度の事業報告、計算書類、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により、監査方針を定めた上で、監事間で協議して監査を実施しました。具体的には、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求めました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類及びその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

第2号議案

任期満了に伴う監事2名の選任について

現任監事4名のうち、本代議員総会終結の時をもって橋本徹監事、福井俊彦監事の2名が任期満了となりますので、監事2名の選任をお願いいたします。

本議案につきましては、監事全員の同意を得ております。

候補者は次のとおりです。

候補者 番号	氏 名	出身大学・学部 卒年等	略歴、本会における役職等
1	はしもと 橋本 とおる 徹	東京大学 法学部 昭和32年卒	学士会監事 (株)日本政策投資銀行 代表取締役社長 元 (株)富士銀行頭取
2	ふくい 福井 としひこ 俊彦	東京大学 法学部 昭和33年卒	学士会監事 (一財)キャノングローバル戦略研究所 理事長 元 日本銀行総裁

第3号議案

選挙管理委員会委員及び選挙区委員会委員の推薦について

本年6月末日をもって任期満了となる選挙管理委員会委員及び選挙区委員会委員について「学士会代議員選挙規則」第5条第3項並びに第6条第3項の規定に基づき、以下の候補者を推薦致します。

1. 選挙管理委員会委員

□推薦候補者（敬称略）

氏名	選挙区	学部・卒年	区分	経歴等
西尾 勝	東京大学	法・36	再	地方公共団体情報システム機構理事長
児嶋 眞平	京都大学	工・34	再	京都大学名誉教授／元福井大学学長
阿部 博之	東北大学	工・34	再	東北大学名誉教授／元東北大学総長
古川 貞二郎	九州大学	法・33	新	恩賜財団母子愛育会 理事長
中村 睦男	北海道大学	法・36	再	北海道大学名誉教授／元北海道大学総長
平野 俊夫	大阪大学	医・47	再	大阪大学総長
浜田 道代	名古屋大学	法・45	再	前公取委員会委員／元名大法科大学院院長

2. 選挙区委員会委員

(1) 東京大学選挙区 推薦候補者（敬称略：卒年順）

氏名	学部・卒年	区分	特記	経歴等
塩野 宏	法・31	再	代議員	東京大学名誉教授／日本学士院会員
増子 昇	工・32	再	代議員	東京大学名誉教授
石井 寛治	経・35	新	代議員	東京大学名誉教授／日本学士院会員
多田 一臣	文・48	再		東京大学名誉教授
相原 博昭	理・53	再		東京大学副学長

(2) 京都大学選挙区 推薦候補者（敬称略：卒年順）

氏名	学部・卒年	区分	特記	経歴等
立本 成文	文・38	再		人間文化研究機構 機構長
佐藤 禎一	法・39	新		元文部事務次官／元東京国立博物館長
山岡 義生	医・40	再	代議員	日本パプテスト病院 院長
家村 浩和	工・43	再		京都大学名誉教授
磯村 辰生	経・51	再		万兵衛代表取締役社長

(3) 東北大学選挙区 推薦候補者（敬称略：卒年順）

氏名	学部・卒年	区分	特記	経歴等
大槻 幹雄	工・29	再	代議員	元富士通(株)代表取締役副社長
樋口 陽一	法・32	再	代議員	東京・東北大名誉教授／日本学士院会員
久道 茂	医・38	再		(公財)宮城県対がん協会 会長
菊池 武剋	文・43	再		東北大学名誉教授
野家 啓一	理・46	再		東北大学教養教育院総長特命教授

(4) 九州大学選挙区 推薦候補者（敬称略：卒年順）

氏名	学部・卒年	区分	特記	経歴等
江本寛治	工・33	再		JFEホールディングス(株)相談役
榎井勝人	経・40	再	代議員	NHK会長
櫻井龍子	法・44	再		最高裁判所判事
巖佐庸	理・50	再		九州大学理学研究院生物科学部門教授
石橋達朗	医・50	新		九州大学病院 病院長

(5) 北海道大学選挙区 推薦候補者（敬称略：卒年順）

氏名	学部	区分	特記	経歴等
沢邦彦	工・34	再	代議員	月島機械(株)顧問／元富士電機(株)社長
柿田章	医・38	再		北里大学名誉教授／いわき湯本病院名誉院長
佐藤征紀	工・39	再		NPO 法人 BHN テレコム支援協議会会長
堀田国元	農・42	再	代議員	(一財)機能水研究振興財団理事長
三上隆	工・47	再		北海道大学理事・副学長

(6) 大阪大学選挙区 推薦候補者（敬称略：卒年順）

氏名	学部・卒年	区分	特記	経歴等
土屋直	経・29	再	代議員	元住友軽金属工業(株)専務取締役
藤村宏幸	工・30	再		元(株)荏原製作所代表取締役会長
江口順一	法・33	再		大阪大学名誉教授
楠本正一	理・38	再		大阪大学名誉教授
恵比須繁之	歯・47	再	代議員	大阪大学理事・副学長

(7) 名古屋大学選挙区 推薦候補者（敬称略：卒年順）

氏名	学部・卒年	区分	特記	経歴等
内藤茂	文・30	再		元NHK論説委員
片岡大造	法・37	再	代議員	名古屋大学全学同窓会関東支部事務局長
奥村洋彦	経・39	再	代議員	学習院大学名誉教授
横田昭	工・42	再		元名古屋大学理事／伊藤忠商事(株)理事
石川靖文	農・50	新		名古屋大学農学部同窓会関東支部長

(参考)「学士会代議員選挙規則」

第5条（選挙管理委員会）

- 3項 選挙管理委員会の委員は、各選挙区に所属する正会員から各1名を、代議員会の推薦に基づき理事長が委嘱する。

第6条（選挙区委員会）

- 1項 各選挙区に5人の委員で組織する選挙区委員会を置く。

- 3項 選挙区委員会の委員は、当該選挙区に所属する正会員から、代議員会の推薦に基づき理事長が委嘱する。この場合、代議員である者を2名を超えて委嘱することはできない。